

蓮根っ子ほけんだより

令和6年 10月 31日
板橋区立蓮根小学校保健室

10月も夏を思わせるような暑さで、日中は汗ばむ陽気の日も多く、体調管理が難しい一ヶ月でした。

日中と比べ、朝晩は冷え込む日もあり、寒暖差の影響で体調を崩し、発熱や咳などの症状で欠席する児童が増えています。体調管理には十分注意してください。



10月の感染症状況について

全国的にもマイコプラズマ肺炎が流行しており、東京都でも9月下旬にマイコプラズマ肺炎の感染者数が増加し、流行警報を出していて、現在も継続しています。

マイコプラズマ肺炎は今まで、4年周期で流行を繰り返してきました。しかし、新型コロナウイルスが流行してから、手洗いやマスク着用の感染症対策が功を奏し、近年はマイコプラズマ肺炎の流行はありませんでした。今年は8年ぶりに流行しているとのこと。

本校でも10月に入り、マイコプラズマ肺炎に感染する児童が増えてきました。近隣の小学校でも流行しているとの報告がありました。

初期症状は、発熱、喉の痛み、咳から始まり、咳はだんだんひどくなっていくのが特徴です。熱も上がったたり下がったりを繰り返す傾向があります。受診をしてマイコプラズマ肺炎の検査をしても陰性だったけれども、なかなか熱が下がらず、咳がひどくなっていくので再受診をしたら、陽性だったというケースも多いので、症状が治まらない場合は再受診することをお勧めします。

また、都内では手足口病の感染者数も増えており、引き続き流行警報が出ています。

本校でも手足口病に感染する児童が見られています。手、足、口腔内に水疱が見られ、口腔内の水疱は痛みを伴い、食事が摂れずに脱水症状を引き起こしてしまう場合もあります。水疱が見られた場合は、医療機関への受診をお勧めします。

保護者の方へお願い

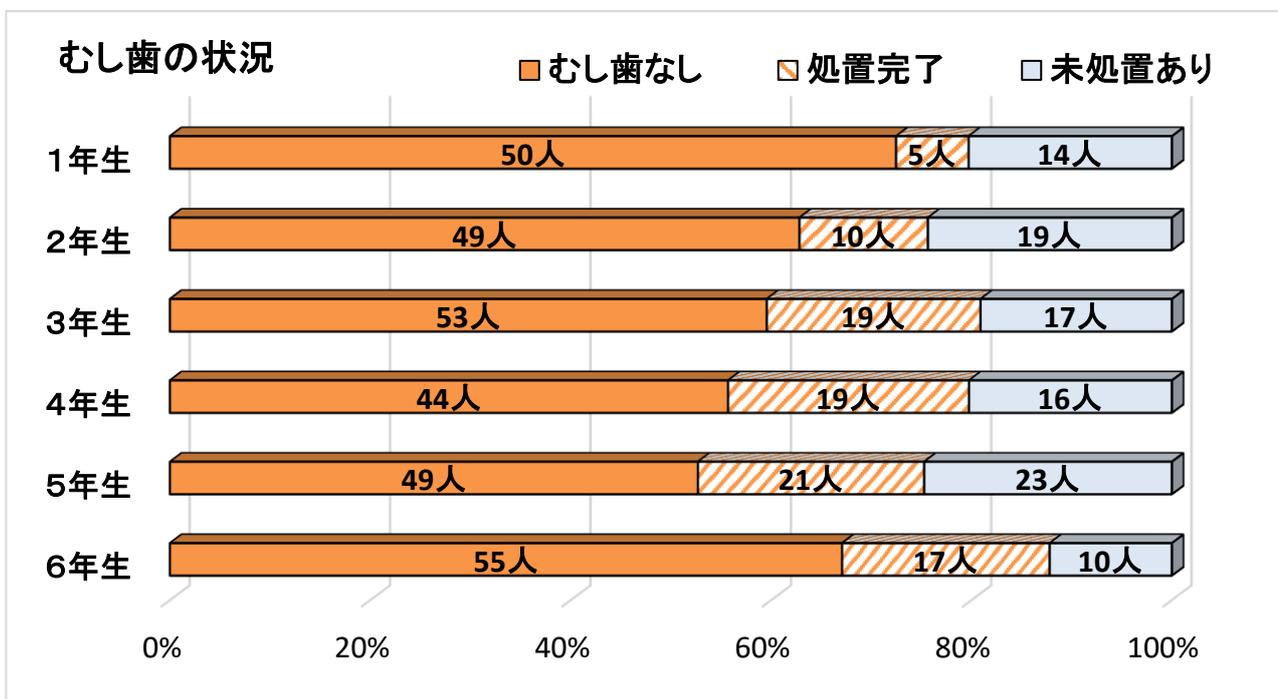
マイコプラズマ肺炎、手足口病ともに、感染した場合は**出席停止扱い**となりますので、**登校する際には「出席届」が必要です。**医師に記入してもらい、登校する際に提出をお願いします。**出席届**は学校のホームページよりダウンロードできます。また、学校にもありますので、必要な方はお申し付けください。

秋の歯科健診を行いました

10月10日（木）に3～6年生を対象に秋の歯科健診を行いました。

秋の歯科健診は春の歯科健診の際に治療が必要だとお知らせした所が治っているか、新たなむし歯や他の疾患がないかどうかを中心に診ていただきました。

先日、受診が必要な児童には「結果のお知らせ」を配布いたしましたので、早めに歯科へ受診をお願いします。



春の歯科健診の結果、むし歯なし・むし歯の処置が完了している児童は全体で79.8%、むし歯がある（未処置あり）児童は20.2%で、むし歯がある児童は昨年度よりもわずかに減少しました。

秋の歯科健診の際には、むし歯をきちんと治療している児童もいましたが、そのままになっている児童やむし歯が増えている児童もいました。また、歯垢の付着や歯肉の腫れが見られる児童もいました。

むし歯は、そのままにしても自然治癒力だけでは治らず、専門医の治療が必要な疾病です。そのうち抜けるからと乳歯のむし歯を放置してしまうケースも見られますが、乳歯のむし歯をそのままにしておくと、進行して歯の根っこまで達し、そこに膿みが溜まります。その時に、永久歯が細菌に感染して、永久歯もむし歯になりやすくなってしまいます。また、その細菌が血管を巡り、他の臓器まで悪影響を及ぼす可能性があります。ぜひ、早めの受診をお願いします。